

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.948
2022.2.6

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

とりうみ敏行 神田よしゆき
松村 としお とば めぐみ
久保 みき たけこし 連
金子 あきよ

感染急拡大への対策をいそげ

新型コロナ対策を保健福祉局から聞き取り

党市議団が1月17日に提出した「新型コロナウイルス感染拡大にかかわる緊急要望」について、31日とりうみ、金子、とばの各市議が保健福祉局から現状の説明を受けました。

「学童・保育所・学童保育・障がい者・高齢者施設等集団生活をする施設では、希望すれば2週間に1度の検査ができるよう3月まで予算化」「埼玉県PCR検査無料化事業では県市共同して薬局を拡充しているがキットが不足」「自宅療養者への訪問看護を35の事業所に委託し酸素吸入体制も確保」「発熱外来の医療機関は大きく減ってはいないが桁違いの拡大で検査が追いつかない」「ワクチン接種は全年齢で2回目接種からの間

隔6カ月とし、接種券発送作業を急いでいる。5～11歳小児ワクチン接種も3月から。ファイザーは品薄。モデルナは十分」「通常90名体制の保健所を現在216名体制まで拡充し土日も夜間もがんばっている。メール、携帯、固定電話等を駆使してリスク分けしながら市民への連絡を急いでいる」「年度末でもあり、区役所での集団接種は困難。各区1カ所は会場を設置」等説明を受けました。

とば市議は「発熱外来・ワクチン・検査等がスムーズに流れ市民が安心できるよう、国にも求めつつ、市独自の予算で緊急に拡充していくことを議会でも求めていきたい」と語りました。

新型コロナ拡大のなかで 過去最大の予算に 2022年度予算

1月21日、清水勇人市長より、党市議団の2022年度予算編成に関する要望書への回答を受け取りました。

2月議会は、2月1日から開会。そこで提案される2022年度予算は、市民の命とくらしを守る予算になっているのでしょうか。

2022年度の予算規模は、一般会計で6373億円（前年比255億円、4.2%増）、特別会計及び企業会計を加えた全会計でも1兆916億円（前年比359億円、3.4%増）と過去最大規模の予算となっています。

予算規模を引き上げたのは、新型コロナウイルスの対策としてワクチン接種にかかわる支出が含まれていることによるものです。一方で収入では、人口増にともない市税が前年比5.8%増となっています。

また、財政調整基金は、減少が見込まれて



予算要望書の回答を市長から受け取る党市議団

いましたが、結局昨年度当初予算と同程度の211億円となっています。コロナ対策と言っても、ほとんど国の国庫支出金によるもので市独自の対策がほとんどないことがはっきりと表れています。

歳出の重点も新型コロナウイルス対策と自然災害対策が中心です。ワクチン接種149億円、災害対策に62億円などですが、ポストコロナとして、大宮駅・浦和駅周辺地区の

開発や地下鉄7号線延伸などの公共事業の推進がかかげられています。

新型コロナ対策としても、緊急に求められる医療や公衆衛生体制、社会保障の拡充にほとんど取り組まれていません。

党市議団がおこなった予算要望では、市の財政運営のあり方をはじめ、大項目で19項目にわたり、「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」では、保健所・保健センターの人

員（とくに保健師）の抜本増や誰もがPCR検査を受けられる体制への補助などを求め、その他には小規模企業者・個人事業主への経済支援や給食費・水道料金の市民負担軽減などを求めました。

要望した項目については、予算の組替え提案をはじめ、2月議会の論戦のなかで市民の要求を実現できる予算となるよう全力をあげます。



埼玉土建のみなさんと懇談する党市議団（左側）

資材やガソリンの高騰で 仕事が受けられず

止めがかからず、仕事があっても受けられない。このままでは倒産する組合員が続出する」などの実態が報告されました。そのうえで、市がおこなった小規模事業者支援金 10 万円の支給の継続をはじめ、融資などの公的支援も国、県だけではなく市としても支援の必要があるとの訴えがありました。

また、3 回目ワクチン接種では建設業関連業者への速やかな実施を検討すると同時に、接種会場の公表、PCR 検査の拡充、ドライブスルー検査などが求められました。党市議団は建設業に限らず、コロナ禍から市民のいのちと暮らし、生業を守るための緊急申し入れを市におこなったことを伝えながら、2 月議会でも積極的に取り上げることを約束しました。

PHOTO NEWS

サクラソウ自生地の草焼きを 小学生が見学

1 月 19 日に特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」で今年も草焼きが実施されました。草焼きは、冬の間枯れて重なったヨシやオギを焼いて除去し、サクラソウの芽吹きを助ける大事な作業です。今年も、新開小学校の生徒さんが草焼きを見学に来ました。子どもたちの心にサクラソウの保全の大切さが根付いたことでしょう。

※写真は市 HP より



田島ヶ原のサクラソウ

草焼きを見学する小学生

草焼き前のサクラソウ自生地

トップダウンの 押し付けはやめて

さいたま市教組と懇談

1 月 26 日、党市議団はさいたま市教職員組合と懇談をおこないました。金子あきよ、たけこし連の両市議が参加しました。

市内の小中学校で新型コロナの感染が急激に増加するなか、1 月 25 日付で、学級閉鎖等の判断を学校がするための方針が通知されました。保健所がやっていた業務を学校が担うことに強い不安が語られました。

参加者から市教委がトップダウンで進めてきたさまざまな教育施策は現場に混乱をもたらしていることが指摘されました。リクルート社の通信教育教材「スタディサプリ」導入では、年 500 円程度という自治体特別価格ではあるが保護者負担、学校でどのような使い方ができるのか検討する間もなく短期間で決定が迫られました。証券会社と協定を結び、小学校で「金融経済教育プログラム」を



さいたま市教職員組合のみなさんと懇談する（左から）たけこし、金子の両市議

来年度から実施することも予定されています。懇談では、こうした営利企業が公教育に参入することに歯止めがなくなっている状況に対する強い危機感が共有されました。また、パワーハラスメントの深刻な実態も語られました。

金子市議は「提案される来年度の教育施策、予算の多くの問題点が明らかになった。なにより学校現場の実態を大切にすることを求めて議論していきたい」と話しました。

あなたの身近な議員です



市議(浦和区) 市議(緑区) 市議(桜区) 市議(南区) 市議(北区) 市議(見沼区) 市議(中央区)
とりうみ敏行 松村としお 久保 みき 金子あきよ 神田よしゆき とばめぐみ たけこし連